

テレナーシング実践研究会

第2回テレナーシング実践セミナー開催報告

2013年12月14日(土)に、テレナーシング実践セミナーを開催しました。

講師とテーマは、次の通りでした。

我が国の遠隔医療の動向と今後の展望

日本遠隔医療学会理事 群馬大学 長谷川高志氏

テレナーシングのための情報リテラシーの基礎

高崎健康福祉大学 東福寺幾夫氏

テレナーシングの基礎知識とエビデンス

聖路加看護大学 亀井智子

在宅モニタリングの方法と遠隔看護・保健指導

聖路加看護大学大学院 山本由子

テレナーシングと情報通信及び情報セキュリティの考え方

聖路加看護大学 亀井研究室 中島紀高

海外のモニターセンター・テレナースの活動と我が国への応用

聖路加看護大学 千吉良綾子

参加者は14名で、所属は、大学・研究所、企業関係（IT系、企画系、テレナーシング専門部署など）、NPO関係にわたりました。

- ① 我が国の遠隔医療の動向と今後の展望－長谷川高志氏から、我が国の遠隔医療の現状とこれまでの発展の経緯が説明されました。
 - ・行政の遠隔医療に対する考え方を知ることができ参考になった。（大学・研究所関係）
 - ・遠隔医療の意義の明確化、新しい評価尺度、報酬制度などがわかった。（企業：IT系）という感想が上げられました。



② テレナーシングのための情報リテラシーの基礎—東福寺幾夫氏からは、情報化社会、技術の変遷や医療情報の取り扱いについての講義がなされました。

- ・テレナーシングをよりよく理解していくために不可欠な ICT の知識、技術特にセキュリティや倫理的問題を知ることができた。(大学・研究所関係)
- という感想が上げられました。



③ テレナーシングの基礎知識とエビデンス—亀井智子からは、テレナーシングに関する国内外の研究の動向、自験例、そしてメタ分析によるエビデンスの呈示がありました。

- ・テレナーシングの導入が必要な理由を国内外の成果を合わせて知ることができた。講師の保健師時代の経験の話も興味深かった。(大学・研究所関係)
- ・テレナーシングの概要について知ることができ、すでに実現されていることに驚きを感じた。(学生)
- との感想が寄せられました。



④ 在宅モニタリングの方法と遠隔看護・保健指導—山本由子からは、モニタリングのための自覚症状の集め方、導入するまでのプロトコル指示書についての説明がありました。

- ・具体的なモニタリング方法、注意点を学ぶことができた。(企業：テレナーシング専門部署)
- ・テレナーシング対象となる慢性疾患の例について学ぶことができた。(企業：IT系)
- という感想が上げられました。



- ⑤ **テレナーシングと情報通信及び情報セキュリティの考え方**—中島紀高からは、テレナーシングをシステムで支えるための情報通信や、セキュリティ技術、テレナーシングシステムの利用者が必要なセキュリティの知識と考え方が講義されました。

- ・セキュリティや情報通信について詳しく学ぶことができた。(企業：テレナーシング専門部署)
- ・セキュリティシステムの考え方、方式が勉強になった。(大学・研究所関係)
という感想が上げられました。



- ⑥ **海外のモニターセンター・テレナーズの活動とわが国への応用**—千吉良綾子からは、昨年8月に訪問したオーストラリア ブリスベン市、シドニー市でのテレヘルスの実際について講義されました。

- ・具体的な諸外国での実践を知ることができて良かった。(大学・研究所関係)
- ・海外のスマートフォン用アプリケーションの健康管理、医療との連携が興味深い。多職種カンファレンスの実態についてはさらに知りたいと感じた。(大学・研究所関係)
という感想が上げられました。



- ⑦ **テレナーシング・遠隔コミュニケーション演習**—亀井、山本、千吉良、東福寺、中島講義の後、参加者は2グループに分かれ、端末「生き息きHOT和み」を用いたテレナーシングの演習を行いました。参加者からは、

- ・実際に使用した結果、顔を見ての診断の有意性を知ることができた。(学生)
- ・体験を通じて、患者、看護師両方からの問題に関心が持てた。(大学・研究所関係)
- ・実際に利用しているシステムだったため、大変参考になった。(大学・研究所関係)
という感想が上げられました。



セミナー全体の感想・意見（自由記載）からは、

- ・今後の業務に活かしていきたい。（企業関係）
- ・テレナーシングは今後もっと広まってほしいと思いました。（学生）
- ・エビデンスのほか、視点をいただけたとともに、今後の可能性も考えることができる機会になりました。感謝いたします。ありがとうございました。他領域、企業の方との連携、つながりが本当に必要不可欠と実感しました。（大学・研究所関係）
- ・とても興味深く聴かせていただきました。今後研究ベースで始めていきたいと考えております。病院だけでは完結しない医療の現状を考えると、継続看護・病院地域とのつなぎ役としてもテレナーシングの役割は大きいと感じています。（大学・研究所関係）
- ・すべての講座が本当に勉強になりました。よい機会をいただきありがとうございました。（IT系企業）
- ・現場の方のお話は貴重でした。（企業：企画系）
- ・実演が大変良かったと思います。（NPO関係）

とのコメントをいただき、充実した1日となりました。ご参加いただいた方々にはありがとうございました。

本記事の無断引用、転載はお断りいたします。